

### ポッシブルの特長

#### 2成分で高い除草効果

ノビエをはじめとした一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイなどの多年生雑草に対し高い効果を示します。また、新規成分テフリトリオンとメフェナセットの2種混合なので、減農薬栽培にも適しています。

#### 難防除雑草、特殊雑草にも有効

本剤は難防除雑草(セリ、オモダカ、クログワイ等)にも有効です。また、イボクサ、アシカキ、エゾノササカグサ、クサネム、アメリカセンダングサ、タウコギ等の特殊雑草に対しても効果があります。

#### 抵抗性雑草にも有効

近年問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草(ホタルイ、アゼナ類、コナギ等)に対しても、新規成分テフリトリオンが優れた活性を示します。

#### 白化症状を示し、殺草スピードが速い

薬剤処理後に雑草が白化作用を呈するので、効果の確認が容易です。また、異なる作用の両成分の共力作用で、殺草スピードが速くなります。

#### 長期間雑草の発生を抑える

各種雑草に対して約40~50日間の残効が期待でき、通常の圃場条件下では一回の散布で雑草を防除できます。

#### 水稲に対する安全性が高い

水稲に対する選択性が高く、通常の圃場条件下では安心して使用できます。

### 有効成分の物理化学性と安全性

有効成分含有率	テフリトリオン(AVH-301) 5.5%	メフェナセット(NTN-801) 18.3%
化学名	2-[2-クロロ-4-メチル-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ペンゾイル]シクロヘキサン-1,3-ジオン	2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-N-メチルアセトアニリド
構造式		

#### 製剤の安全性

人畜毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指すという通称）  
 ・経口(ラット♀) LD<sub>50</sub> > 2,000mg/kg ・経皮(ラット♂♀) LD<sub>50</sub> > 2,000mg/kg  
 魚毒性：  
 ・コイ LC<sub>50</sub>(96h) > 1,000mg/L ・オオミジンコ EC<sub>50</sub>(48h) 1,241mg/L

### 適用雑草と使用方法

農林水産省登録：第22614号（2014年8月現在の登録内容）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用回数*	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ クログワイ(北海道を除く) オモダカ ヒルムシロ セリ エゾノササカグサ(北海道) コウキヤガラ(関東・東山・東海・九州) シズイ(東北)	移植後5日~ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土 と 埴土	500ml/ 10a	本剤 1回	原液 湛水散布 または 水口施用	全域の普通期 および 早期栽培地帯
	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期~ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで	埴土 と 埴土		メフェナセット 2回以内	原液 湛水散布	全域

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数に制限を示します。

### 注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用前に瓶をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生時期から生育初期に有効なので、移植水稲については田植え5日後からノビエの3葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの3葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようしてください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、エゾノササカグサは2葉期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは発生前から発生始期までが本剤の散布適期です。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)のまま本剤を水田全面に散布するように散布してください。水口施用の場合は、入水口に本剤を水口に投入し、流入水とともに水田全面に散布させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水がふくれ出ないように注意してください。
- 散布後3~4日間はそのまま水を止め、田面を乾燥させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなってください。
- 湛水、浮き箱が生じないように、代かき、均平化及び種付作業は行わないこと。また、湛水、浮き箱が生じないよう、代かき、均平化及び種付作業は行わないこと。また、湛水、浮き箱が生じないよう、代かき、均平化及び種付作業は行わないこと。
- 以下の条件では薬害を生ずる恐れがあるので使用を避けてください。
  - ①砂質土壌の水田及び湛水田(湛水深2cm/日以上)
  - ②軟弱な湛水田の水田及び浮き箱の多い水田
  - ③移植水稲に使用する場合は、薬害を避けるため稲の1葉期以降に使用し、稲の穂が露出している時の使用は避けてください。
  - ④深い多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので使用を避けてください。
  - ⑤散布田の田面水を他の作物に連水しないようにしてください。
  - ⑥本剤は、移植前に生じたミスガヤツリには効果があるので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
  - ⑦強に対して影響があるので、周辺の農薬にはからないようにしてください。
  - ⑧本剤はその殺草特性から、いんげん、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意してください。
  - ⑨本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



バイエルクロップサイエンス株式会社  
 東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262  
 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078  
 (9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日を除く)  
 (L3-3040 14.08.15)



2成分で  
白く枯らす。  
効きめが見える。

AVH-301  
 Bayer CropScienceの登録商標

